

2023年度日本工学院専門学校

建築設計科

施工管理技術者資格対策

対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	赤石 辰夫、大澤 公仁			実務 経験	有	職種	工事管理／工事監理 一級施工管理技士				

担当教員紹介

中堅の建設会社で13年間現場監督として勤務し、2階建ての信用金庫支店から14階建ての高層住宅まで8棟の工事を担当。超高層RC造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当したコンクリート工事の専門家。

授業概要

教科書を用いた講義により通常授業で学んだことから試験問題のポイントについて学び直す。また、過去問題を用いた演習と解説を行うことで、2級建築施工管理技士同等の実践的知識の習得を行う。同時に模擬試験を行い、実践力を養う。

到達目標

2級建築施工管理技士試験と同等レベルの問題について70%以上の正解率を上げられることを目標とし、それと同等の知識の修得を目指す。そのためには、過去10年以上の試験問題について精査し幅広い内容の中から定番となる問題を中心に理解し、余裕のある項目については各自が判断して難問にも挑戦し高得点につながるようにレベルアップを図る。また、四択問題の形式に慣れて試験時間の配分なども考慮して受験するテクニックも身に付ける。

授業方法

目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。

成績評価方法

試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する
小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

これまで一般構造・建築材料・建築生産・計画・環境工学・法規などとして別れて学んだことを、建築の総合的な知識として学び直すこと。過去6回分の問題集は主に自宅学習で繰り返し解き、模擬試験で学力を確認すること。また、夏期休暇中には復習を怠らないこと。

教科書教材

2級建築施工管理技士学科テキスト(2020年度)、2級建築施工管理技術検定過去6回試験問題

回数	授業計画
第1回	地盤・基礎構造、木構造 地盤と基礎形式、在来軸組み工法、木材の接合方法
第2回	RC構造、S構造 鉄筋の役割、鉄骨の接合
第3回	換気、伝熱・結露 自然換気と機械換気、伝熱と断熱、結露の防止
第4回	構造力学 反力・トラスの求め方、応力図
第5回	日照・日射 建築の日蔭、直達日射と天空日射

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
施工管理技術者資格対策	
第6回	荷重・外力 構造設計における荷重
第7回	採光・照明、音響 昼光の照度、採光、照明方式
第8回	建築材料 躯体材料と仕上げ材料
第9回	総合演習 実力確認、受験申し込み手続き
第10回	音響、色彩 音の性質と単位、遮音と吸音、色彩の効果
第11回	仮設工事、土工事、基礎工事 建築測量・仮囲い・足場、根切り・排水・山留、砂利地業・杭工事
第12回	建築基準法、建設業法 用語の規定、建設業の許可、請負契約
第13回	RC造工事、S造工事 型枠工事、鉄筋工事、コンクリート工事
第14回	模擬試験 建設業法の補足、実力確認
第15回	総合演習 模擬試験結果、解説
第16回	仕上げ工事 防水工事、左官工事、ガラス・建具工事、塗装工事
第17回	労働基準法 労働基準法、労働安全衛生法
第18回	施工計画、工程計画 事前調査、書類と届け出、工程表
第19回	その他の法規 騒音・振動規制法、産業廃棄物、建設リサイクル法
第20回	品質管理、安全管理 品質計画とQC、材料の保管、作業主任者の業務
第21回	過去問題演習 1、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第22回	過去問題演習 2、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第23回	過去問題演習 3、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第24回	過去問題演習 4、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第25回	過去問題演習 5、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
施工管理技術者資格対策	
第26回	過去問題演習 6、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第27回	過去問題演習 7、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第28回	過去問題演習 8、解説 過去問題を模擬形式で実施、解説
第29回	模擬試験 模擬試験の実施、解説
第30回	総合演習 本試験の解説